

● 新指定答申文化財の概要

【種別】有形文化財 歴史資料

【名称】宝永津波供養碑（馬越墓地の三界萬霊碑）

（ほうえいつなみくようひ まごせぼちのさんがいばんれいひ）

【員数】1基

【所在地】尾鷲市北浦西町 1520 番

【年代】江戸時代（正徳3年、1713年）

【規模】現高 182.0 cm、幅 112.0 cm、奥行 101.5 cm

【概要】

尾鷲市北浦西町の馬越墓地まごせに所在する石碑です。碑の正面に「経塚きょうづか 三界萬霊さんがいばんれい」とあり、左面・裏面・右面に宝永4年（1707）10月4日に起きた地震による山崩れと津波の規模や被害の状況、造立の主旨を記しています。その銘文から、宝永地震津波死者の七回忌にあたる正徳3年（1713）に際して造立されたことがわかります。

この石碑は、宝永の大地震とそれに伴う大津波による、当時の尾鷲での被害状況を今に伝えています。三重県の歴史上、決して忘れてはならない重大な自然災害に関する、重要な歴史資料です。



宝永津波供養碑(馬越墓地の三界萬霊碑)